

<p>第 10-12 回 (2010'.12.20,2011'.1.6,1.17)</p>	<p>『インターネット情報およびデータベースとその活用法』 金子周司教授(薬学研究科)</p>
<p>● 第 10 回講義 (12 月 20 日)…受講生数:22 名 ・配布物：なし(講義資料は当日,機構 HP>情報探索入門のページにアップ) http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/modules/support/content/2010tansaku/20101220Kaneko.pdf</p> <p>◇ 講義目的 <インターネット情報およびデータベースとその活用法> ・インターネットやデータベースの現状を理解し, 得られる情報の効用や特性について述べることができる。</p> <p>◇ 講義内容</p> <p>○ 学術情報とインターネット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究と文献: 研究の価値は「世界初」であることが重要。研究には「1. 研究テーマを決める, 2. 文献情報から仮説を立てる, 3. 実験や調査をする, 4. 結果を文献と合わせて考察する, 5. 論文を書いて公表する」といったプロセスがあるが, 2 のプロセスでまず何が既に研究されているかを漏らさず文献調査することが大事。 ・学術情報=文献?: 学術情報は図書や雑誌といった永続性が保証されている文献のほかにも, データベースやウェブページのように必ずしも永続性が保証されていない情報もある。 ・文献検索: 二次情報(抄録検索)から冊子体の一次情報へというのが基本だったが, 学術雑誌の電子化(投稿・編集・出版・公開)により電子媒体の一次情報にアクセスすることが多くなった。 ・インターネットと学術情報: 学術情報は本来インターネット向き(多種類, 少数, 世界共通)。医学・生命科学では 90 年代に電子化(抄録 DB と電子編集・出版のリンクや遺伝子や物質 DB との統合)が開始。 ・Entrez/PubMed 統合データベース: <ul style="list-style-type: none"> : 医学図書館 NLM の下部組織として遺伝情報センターNCBI を設置 : 研究者が作った遺伝子情報と図書館の書誌情報が融合 : 今では化合物や疾患も統合されている : 統制語 MeSH が柔軟な検索を可能に ・情報検索における現実的問題: <ul style="list-style-type: none"> : 表記のゆれ: “たばこ” “タバコ” “煙草” : 同義語: “後天性免疫不全症候群” “エイズ” : 多義語(特に略語): “AV” “CD” : 階層性: “京都” “京都府” “京都市” : 英語と日本語: “vector” “ベクター” “ベクトル” <p>○ ライフサイエンス辞書 Life Science Dictionary (LSD)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ電子辞書を作ったか: 卒業研究や英語での論文執筆や国際学会の発表など英語で苦勞する学生・大学院生が多い。需要はあっても大変なので電子用語集は誰もつくりたがらない。 ・学生にありがちなミス: <ul style="list-style-type: none"> : 学習辞書で学術論文を読もうとする : 日本語で書いてから英訳する : ネットで日本語の情報ばかり集める : 同義語, 表記ゆれ, 粒度に無頓着 ・オンライン辞書サービス WebLSD: 英和・和英・出現頻度・発音・用例・共起検索・Pubmed 連携 ・どうやって作ったか: 1. Native speaker の PubMed 抄録などから大量のテキストコーパスを作成, 2. 単語の出現頻度や隣接数を数えて用語を収集(英語, 日本語それぞれに), 3. 同じ意味をもつ語句を対訳とする, 4. MeSH ツリーと照合する(上位語下位語を整理)。 ・応用例: 電子カルテからの副作用情報の発見, オンデマンド英語教材, パソコン辞書(英和・和英辞書, マウスオーバー辞書), iPod コンテンツ(耳で覚えるライフサイエンス英語) ・LSD プロジェクト: シソーラスから連想検索へ, テキストマイニングへの応用, Methodology は確立しているので他分野の専門辞書にも応用可能。 	

○ 演習のツボと落とし穴

■ **インターネット演習:** 課題の概要, 目標および過去問題の紹介。情報やサイトの信頼性, 検索語による結果の差異などを考察できるようになることが目標。

• **英語の医学系論文を探す:** 医学系の場合はPubMed(最新情報に向く, シソーラス・リンク充実), Web of Science(正式な被引用状況を調べられる), Google Scholar(手軽に代表的論文を調べられる)などデータベースの特長にあわせて使い分けるとよい。

• 検索のポイント

- : いつの時点の情報か。
- : 正しい名前 (用語) は何か。
- : どうキーワードを掛け合わせるか。
- : どこが情報の発信源か。
- : 表記のゆれ, 同義語, 言い換え表現
- : ネットには諸説入り乱れている
- : 科学的な情報=総説や論文を探す
- : 科学的情報は英語で検索する
- : 科学的情報に「定説」はない

■ **データベース演習:** 課題の概要, 目標の紹介。代表的データベースを使えるようになること, 検索した情報の要約ができること, 情報がない場合はその原因を考えられることが目標。

• **データベースの紹介:** ReaD, Web of Knowledge, KAKEN

• 研究業績検索のポイント:

- : 複数の情報源をあたる
- : 本当にその人かどうか確かめる(同姓同名も多い)
- : 情報を整理する(重要な情報は何か) ※被引用回数やIFなどの指標も参考に
- : 情報がない場合の理由を考える

● 第11回演習 (1月6日) … 受講者数:41名

◇ **演習ページ URL:**http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/modules/support/index.php?content_id=20

○ **課題:**京大に在籍する1名の教員(金子は除く)について研究業績を調査せよ。

○ **目的:**データベースファイルや検索語の適切な選択を体得し, 情報が見つからない場合の考察を行う。

○ **注意点:**同姓同名の人物を見分ける。何が重要な情報かを考える。

■ 調査レポート項目

- 1.氏名, 現職
- 2.学位および学位論文
- 3.最近の著作物, 論文
 - 1.最も被引用回数の多い英語の論文
 - 2.上記(3-1)で調べた英語論文が掲載されている学術誌の2005年-2009年のインパクトファクター
 - 3.(上記(3-1)で英語論文がヒットしない場合)最も被引用回数の多い日本語の論文
- 4.最近の科学研究費助成金の獲得状況
- 5.以上から考えられる先生の主要な研究テーマ
- 6.感想と反省

※データベース等を検索して情報が得られなかった場合は、レポートに「検索したがヒットしなかった」旨を記入し、ヒットしなかった理由を考察すること。

※被引用件数が同数の論文が複数ある場合、レポートにはもっとも最近に発表された論文を1つ選び記入して下さい。

※「最近の」とは、おおむね過去10年以内を指すものとしますが、その中でもできるだけ近年の情報を選んで記述してください。

■ 使用するデータベース

- ReaD (科学技術振興機構)

- NDL-OPAC (国立国会図書館)
- CiNii (国立情報学研究所)
- Web of Science
- Journal Citation Reports
- Scopus
- 科学研究費成果公開サービス:KAKEN (国立情報学研究所)
- その他の情報源 (京都大学ホームページ, 京都大学博士学位論文データベース, 京都大学研究者総覧データベース, Google Scholar, 先生個人や所属機関が開設しているホームページ等)

◇補助内容:データベース選定,各種データベースの使い方(解説ページ)作成,演習ページ作成,演習補助,採点

●第12回演習 (1月17日) … 受講者数:39名

◇演習ページ URL:http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/modules/support/index.php?content_id=21

○例題

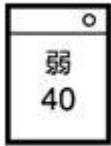
■例題1

1884年にゴーストの Robert Brothers から出版された『宝島』(ロバート・レイス・スチーブソン 著)の本文中に,登場人物の一人である「ジョン・シルバー」の名前が最初に登場するのは何ページか。

★ヒント: 日本語の題名や人名で検索しても見つかりません。英語で探してみましょう。

■例題2

下記のマークはある規格で表示方法が定められています。その規格の正式名称と略称を調べてください。また,その規格を扱う公的機関のページを参照し,下記マークの意味や表示方法を定めた規格番号および規格名称を調べてください。



■参考サイト

Google(グーグル)/Google ブックス/日本工業標準調査会(JISC)HP/リサーチ・ナビ

○課題:ポータルサイトを出発点にして情報を探し出し,情報が得られるまでの過程を簡潔に説明するとともに,結果を整理して情報の信頼性や自らの検索過程について考察しなさい。

■課題A(必須)

京都大学の派遣留学制度を利用して,大学間学生交流協定を締結しているオーストラリアの大学に留学する場合について,申請手続から渡航するまでのプランを作成してください。なお,プランの作成にあたっては,下記の事項を必ず含めること。

- 学内選考のために必要な手続,書類
- 留学希望先の大学に対して必要な手続,書類
- 留学希望先の大学で学びたい専攻・コース名
- 渡航に必要なビザの取得方法

■課題B(3問から1問選択)

B-1 日本人有業者の何%が日曜日に働いているか。ただし,根拠さえ示せば今年の数値でなくても構わない。

★ヒント: 信頼できる数値を得るために,政府統計を調べてください(ただし,今回は民間調査の数値を挙げてでも正解とします)。

B-2 2010年にノーベル文学賞を受賞したマリオ・バルガス・リョサ氏は,かつて大統領選挙に出馬し,アルベルト・フジモリ氏に敗れて落選したことも知られています。さて,そのときのことを振り返って書かれたマリオ・バルガス・リョサ氏の作品名を原題名(日本語ではありません)で答えてください。

B-3 下記の画像を表紙に使用した洋書(英語の図書)の書名,著者名,出版社名を答えてください。



<http://edb.kulib.kyoto-u.ac.jp/library/tensho/image/te01/Te01s001.jpg>

○目的:単にインターネットを使って情報を得るだけでなく、インターネットで得られる情報の信頼性を考察し、評価すること。
 ・学生たちが思うように解答を得られない場合は、その原因を自分なりに考察してもらう。

○注意点:検索によって相違ないし重複する情報が得られた場合はそれらを整理すること。

■調査レポート項目

課題 A

- ・解答
- ・検索プロセス
- ・反省点, 感想

課題 B 選択した課題番号 ____

- ・解答
- ・検索プロセス
- ・反省点, 感想

※ 解答を得るために試みた検索プロセス(その際に利用したサイト名,その URL も含む)を記入してください。

また,情報の信頼性や検索方法による結果の差異なども比較・検証し,整理して記入してください。

※コピー&ペーストは最小限に限ってください。

■ポータルサイトへのリンク

Yahoo! JAPAN(ヤフー)/goo (NTT レゾナント)/Google(グーグル)/Excite(エキサイト)/Bing(マイクロソフト)/MARS FLAG(マーズフラッグ)/はてな(はてな)

■回答例 URL:http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/modules/support/content/2010tansaku/20110117_answer.pdf

(担当: インターネット・データベース演習担当チーム)